

遊学舎武雄こども園 園だより

2024(令和6)年10月号

「174のころ」

“The One” in the Garden に向けて、ダンスの練習をしていたある日のこと。

曲中に隊形移動をするのですが、初めて練習をしたとき、難しかったようで「わからん～」と戸惑う子が多かったので、隊形移動の内容を少し簡単に変更しました。そのまま数日練習をしていたのですが、子どもたちの可能性を感じたので、「やっぱり最初の隊形移動に挑戦してみよう！」と子どもたちに提案し、話し合っ、再度挑戦してみることになりました。

再チャレンジの日、曲が始まる前から子どもたちは「がんばろう！」と友だち同士で声を掛け合っている姿も見られ、見事に成功！「やったー！」「できたー！」と自然と歓喜の輪ができ、子どもたちの表情はキラキラと輝いていました。

みんなで一つのことを挑戦する、“The One”を通して得ることができる達成感を感じた瞬間でした。

”色とりどりに光る世界を作ってく
僕らはそれぞれに輝く color”

「イロトリドリ」の歌詞にあるように、子どもたちそれぞれのカラーで、一人ひとりが輝く“The One”を一緒に楽しみましょう！





おいしい給食でみんなの健康を守っているキッチンの先生たち。たくさんのおいしい給食を作ってくれるフコグループの姿に、憧れの扉を叩く子どもたちも大勢います。お片付けありがとう。おいしく食べてくれてありがとう。今日も元気でいてくれてありがとう。…キッチンの先生の「ありがとう」には、こんな想いが込められているような気がするのです。武蔵小児園の子どもたちの心と体は、今日も様々な立場の様々な人々の視点から守られています。

園のキッズホールでは、鉄道の日の写真が展示されています。募集させて頂く際のお便りには、特に何も記載はしていなかったのに、お寄せ頂くその写真全てにお子様のお姿があったことに、まず心が温かくなりました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

先日、職員のお子様デジタルカメラを操作しながら写真を撮ろうとしていました。そのカメラには今まで撮られた写真が沢山残っていて、その子が遊んでいる動画などが収められていました。聞くと、そのカメラは今春にご逝去された、その職員のお父様のもので、撮りためられた写真と動画全てがお父様の撮影によるものだそうです。生き生きと遊ぶお子様の可愛らしい姿と共に動画から漏れ聞こえる、お父様の温かな笑い声。

非常に厳格だったそのお父様は、お孫さんが生まれてから、髪を引っ張られたり、もみくちゃにされてもそんなことは気にもなさらず、とにかく可愛くて仕方がないといった様子の変化ぶりだったそうです。

フィルターを通して見る世界。そこには、撮影者の想いが共に在り、その想いは、確かにずっと残り続ける。人は、心が動くから、ずっと在るものではないと知っているから、シャッターを切る。そして、不思議なもので、時間を追うごとにその写真の中に在る愛情は深まっていく。

もうすぐ、園の大きな行事であるThe One in the Gardenが行われます。私がこの園に来たのが4年間で、今のさくら組さんが2歳児さんだったとき。柔らかな肌と、お喋りの楽しさを知り始めた、赤ちゃんの面影を宿す、可愛らしい姿だったことを覚えています。あの時、あんなに小さかった子どもたちが、今、こんなにも堂々と、自信に溢れた表情で、よさこいソーラン節を踊り、真剣な眼差しで、園庭を走っている。

The One 当日、皆様のフィルターを通して映るお子様の姿は、私たちに見える姿よりも一層熱を帯びているはずで、その後どれだけの時間をかけてその愛情が深まっていくのでしょうか。今からその起点となる瞬間を共に過ごすことができることを、私たちは誇りに思います。

